



# 1月

# ひなたぼっこ

令和7年1月1日  
ちゃいんどべーすIDEKITA  
園長 甲斐 英哉

新年明けましておめでとうございます。お正月は楽しく過ごせましたでしょうか…。  
保育園には久しぶりに子ども達の元気なおしゃべりや笑い声が響いています。  
1月は凧揚げやかるたなどお正月遊びを楽しみながら昔からの遊びを大切に引き継いでいきたい  
と思います。

いよいよ今年度も残り3ヶ月です。子ども達が充実した園生活を過ごせるように職員一同見守って  
いきたいと思ひます。本年も子ども達にとって良い年になりますように。  
どうぞよろしくお願い致します。

## 1月の健診

- ・7ヵ月健診…16日(木) 30日(木)
- ・1歳6ヵ月健診…9日(木) 23日(木)
- ・2歳6ヵ月歯科健診…15日(水)
- ・3歳6ヵ月健診…8日(水) 22日(水)

絵本の紹介  
『おもちさんがね』  
さく・え  
とよた かずひこ

子ども達も大好きな  
「〇〇くん(さん)がね」  
シリーズ!! かわいい食べ物たちが  
動き出し、ピンチにあっても  
「心配ご無用!」の合言葉で  
そのピンチを乗り越えていくシリーズ。  
この決め台詞は子ども達も手を前に  
出して一緒にポーズしてくれませよ☆

## 12月の子どもの様子



鈴やマラカスで楽器遊び♪



木登りに挑戦!!



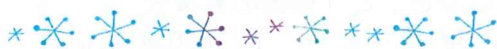
紙コップ遊び、はまってます!



両手に力を入れて鉄棒にぶら下がり!! 「これに決めた!!」



サンタさんから  
プレゼントもらったよ☆



## お知らせ

・子どもは大人よりも体温が高めです。大人より1枚少なくをめやすに「薄着」=「動きやすい」  
衣服の準備をよろしくお願いいたします。

・今月の保育料の引き落としは1月27日(月)です。



# 防火・消火・避難の基本！

この時期に  
知っておきたい！

## ～出火原因はさまざま～

- 出火場所は火を扱う場所だけではありません。出火原因の約半数は電化製品やコンセントなどの電気設備機器が占めています。特にコードからの発火やコンセントのトラッキング現象には要注意です。  
(※トラッキング現象…コンセントとプラグの間にほこりが溜まり、そこに湿気が加わると発火する現象)

## 防火

- コンセント…使用していないコンセントにはコンセントカバーを取り付ける
- プラグ…定期的にプラグについているほこりを除去  
トラッキング防止カバーの取り付け
- コード…劣化していないかチェック
- 火や熱を伴う場所に燃えやすいものを置かない

※子どもの手が届きにくく  
大人の手に取りやすい場所に  
常備できると安心ですね！

## 消火

- オススメ  
防災グッズ☆  
『消火スプレー』
- コンパクトなので  
・誰にでも扱える  
・持ち運びに便利  
・アウトドアを楽しむ時の火災予防にも



延岡市で取り扱っている店舗

- ホームワイド
- HIヒロセ

☆火元ハシュー！！だけで初期消火ができます☆

- 燃えている現場を見るとパニックになり消火器を使おうと思ってもなかなか使えません
- 炎が小さいうちならこの消火剤を吹きかけて消火できます
- 炎が大きい場合はまず消火剤をスプレーして119番通報をし、消火器で消火します

## 避難

- 火災報知器のサイレンやベルがなったら1～3分で新鮮な空気の吸える場所へ避難を！
- ハンカチやタオルで口を覆っても一酸化炭素の吸引を防ぐことはできません  
素早く外に出るようにしましょう！

### 子ども達のキラリを発見☆

☆ばんび組のHくんとSくん☆

同じおもちゃを使いたくてトラブルに…  
一人で何かを考えて…  
気持ちの整理がつくと  
「ごめんね、一緒にしよう(使おう)！」  
と、それぞれではなく『一緒に遊ぶ』という  
選択肢を選ぶことができました。その後は  
手を繋いで遊ぶ姿も見られましたよ！

☆りす組のIさん☆

転倒してしまったお友達に寄り添い  
「大丈夫よー！泣かないでね～！」と  
優しく声を掛けてくれました。  
その優しさに傷も心も癒されますね！

### 『子どもの自己肯定感をはぐくむポイント』

子ども自身が、「自分って結構やるじゃん」  
(自己肯定感)と自信を持ち前向きにチャレンジ  
していくためには、大人の「話し方」よりも  
「聞き方・見守り方」が鍵となります。  
よく言われる「傾聴力」とは、「耳も心も傾けて  
熱心に聞くこと」。子どもの話を熱心に聞くこと、  
聞ききることは大変難しいことではありますが  
とても大切なことです。言葉がまだ、たどたどしくて  
意味が分からないこともあるかもしれませんが、  
そんな時には、「うなずき」と「最後の言葉を  
おうむ返し」で伝えてみましょう。子どもの心には、  
「自分の話を聞いてくれている」「自分のことを  
わかろうとしている」と感じます。大人も「傾聴力」  
にチャレンジしてみましょう。

「子どもの傷つきやすいところの守りかた」著書参照